

令和 7 年度
「運営に関する計画」

大阪市立喜連東小学校

令和 7 年 4 月

学校教育目標

感じ、考え、確かで、豊かに表現しようとすることを通して、共に分かり合い、高め合う子どもを育てる。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○安全、安心で楽しい学校生活について

令和4年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、特に3・4年生では90%を超える値になった。しかし、高学年になるとこの値が低くなる傾向がある。コロナの影響も少なくなってきており、様々な学校行事を取り組むことができる状況でもある。この割合を上げる取組を今後進める必要がある。

	本校	大阪市
3年	94.3%	85.0%
4年	92.1%	82.9%
5年	78.4%	79.9%
6年	74.0%	80.0%

また、日々の学校生活においても、児童一人一人が認められ、いじめのない、人権が守られる取組を今後も続ける必要がある。

○自己肯定感、自尊感情の向上について

令和4年度の学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」について、肯定的な回答をした児童の割合を大阪市平均と比較したところ、3・4年生は大阪市平均を上回ったが、5・6年生は下回った。高学年になるほど、割合が減少する傾向にある。

	本校	大阪市
3年	92.4%	79.8%
4年	78.5%	76.3%
5年	68.7%	74.6%
6年	52.0%	74.9%

この結果から、高学年になるほど自尊感情の低下が見られ、発達段階の影響もあると思われるが、今後もほめることを中心として、自己肯定感を上げる取組を進めていく必要がある。

○規範意識の向上について

学校アンケートにおいて「学校のきまりを守っていますか」という質問に肯定的な回答をする児童が、どの学年でも割合が80%を超える。しかし、学力経年調査においては、ほとんどの学年が大阪市平均を下回っている。教職員全体で規律に関して共通理解を図り、よりきめ細かな指導をしていく必要がある。

○学力向上について

令和4年度の大阪市小学校学力経年調査の結果を大阪市平均と比較したところ、平均を大きく下回っていた。この傾向は例年続いており、運営の計画においても毎年課題としてあがっている。

国語科	本校(点)	大阪市(点)		算数科	本校(点)	大阪市(点)
3年	52.5	69.6		3年	56.0	70.7
4年	53.3	69.3		4年	55.2	65.4
5年	53.9	72.6		5年	45.5	60.5
6年	54.4	70.0		6年	49.1	67.3

令和4年度までの、国語科の研究において、読解力を伸ばすための様々な取組を続けていることで、児童の読解力は一定の伸びが見られた。しかし、大阪市平均より10ポイント以上差がある。今後も基礎・基本の定着を図り、自ら進んで学習に取り組む児童を育むための取組を行う必要がある。また、低位層の子どもたちは、遅刻や欠席が多かったり、家庭学習が定着していなかったりするので、規則正しい生活を奨励し、自ら律する態度を身に付けさせる必要がある。

○体力向上について

運動遊びを十分取り入れたり、運動場での遊びを奨励したりすることで子どもたちが体力向上に取り組む意識は醸成されてきている。しかし、この数年のコロナ禍による影響で、体力の低下がみられる。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも、20mシャトルランで大阪市の平均を下回る結果になった。これから、持久走等で走る能力を上げていく必要がある。

○ICTを活用した教育の推進について

全国学力学習状況調査において、児童がICT機器を学習に利用している頻度、時間共に大阪府、全国の平均を下回る状況にある。

中期目標（概ね4年以内に達成すべき目標）

【安全・安心な教育の推進】

- 年度内の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 年度内の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分に良いところがあると思いますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 年度内の校内調査において、「学校のきまりをきちんと守っていますか。」の項目について、肯定的な回答をしている児童の割合を90%以上にする。
- 年度内の校内調査において、「災害時（火事・地震）、不審者侵入時の行動の仕方を知っている。」の項目について肯定的な回答を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 年度内の校内調査において、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を使い、デジタル教材や家庭学習等を週数回実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を65%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。（①出席日数の増加②ICTの活用による本人または保護者とのつながる回数③養護教諭及び外部機関とのつながり等）

学校園の年度目標

- 年度内の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 年度内の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度と同じか減少させる。
- 年度内の校内調査において、「係活動などをがんばり、人の役に立つことをしている。」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にする。
- 年度内の校内調査における「学校のきまりをきちんと守っている。」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を 75%以上にする。
- 年度内の校内調査において、「災害時（火事・地震）、不審者侵入時の行動の仕方を知っている。」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語科および算数科の平均正答率の対全国比）を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 1 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

学校園の年度目標

- レディネステストなどを基に児童の実態を把握し、基礎・基本の定着を図るために指導に取り組み、算数科の単元テストにおいて、数と計算領域の正答率 50%未満の児童を 15%以下にする。
- 年度内の校内調査において、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答の割合を 85%以上にする。
- 体育科の研究授業の前後にアンケートを実施し、「体育科の授業が楽しい」等、肯定的な回答をする児童の割合を授業前より向上させる。
- 年度内の校内調査において、「体を動かす運動（走る、跳ぶ、投げる）をよくしている。」の項目について、肯定的な回答の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 学習者用端末を使い、デジタル教材の使用や家庭学習等を週数回実施する。
- ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を70%以上にする。

学校園の年度目標

- デジタル教材を活用した学習を週数回実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を60%以上にする。

【その他】

学校園の年度目標

- 年度内の校内調査において、「委員会活動や係活動、当番の仕事をがんばり、人の役に立つことをしている。」の項目について、肯定的な回答をしている児童の割合を前年度以上にする。
- 年度内の校内調査において、「学校のいろいろな行事が好きで、学校へ行くことが楽しい。」の項目について、児童の割合を前年度以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を 75%以上にする。

大阪市立喜連東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。 ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>(①出席日数の増加②I C Tの活用による本人または保護者とのつながる回数③養護教諭及び外部機関とのつながり等)</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度内の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 年度内の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度と同じか減少させる。 ○ 年度内の校内調査において、「係活動などをがんばり、人の役に立つことをしている。」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○ 年度内の校内調査における「学校のきまりをきちんと守っている。」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 ○ 年度内の校内調査において、「災害時(火事・地震)、不審者侵入時の行動の仕方を知っている。」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生活指導連絡会で校内の状況を全教職員で共通理解し、対策を講じる。また毎学期、「いじめに関するアンケート」を実施する。</p> <hr/> <p>指標 いじめについてのアンケートにおける「あなたは今のクラスになって、いじめられたことはありますか。」という項目について、「ある」と答えた児童に対して聞き取りを行い、そのいじめが解決した割合を95%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>生活指導連絡会で校内の不登校児童の状況を全教職員で共通理解し、対策を講じる。</p> <hr/> <p>指標 不登校児童の状況を全教職員で共通理解する場を毎月1回以上設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>児童の自己肯定感・自己有用感の改善に向け、委員会活動や学級での係活動などの充実を図る。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート「委員会活動や係活動、当番の仕事をがんばり、人の役に立つことをしている。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校生活のきまりを守ることにについて、生活目標を設定する。また、靴の履き替えや、安全な廊下、階段の歩行等について啓発し、きまりを守ろうとする意識の向上に努める。</p>	

<p>指標 児童アンケートにおける「あなたは、学校のきまりをまもっていますか」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を 75% 以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「警備及び防災の計画」「危機管理マニュアル」を元に年間指導計画を作成し、それに沿って防災に関する授業や、災害時に備えた訓練を実施し災害から自身を守ろうとする意識の向上に努める。</p>	
<p>指標 各学級で年に一度防災に関する授業を実施し、児童アンケートにおける「災害等が起きたとき、自分の身を守るためにどうしたらよいのかを知っている。」という項目について「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を 85% 以上にする。</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における国語科および算数科の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 1 ポイント向上させる。 ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ レディネステストなどを元に児童の実態を把握し、基礎・基本の定着を図るために指導に取り組み、算数科の単元テストにおいて、数と計算領域の正答率 50%未滿の児童を 15%以下にする。 ○ 年度内の校内調査において、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答の割合を 85%以上にする。 ○ 体育科の研究授業の前後にアンケートを実施し、「体育科の授業が楽しい」等肯定的な回答をする児童の割合を授業前より向上させる。 ○ 年度内の校内調査において、「体を動かす運動（走る、跳ぶ、投げる）をよくしている。」の項目について、肯定的な回答の割合を75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>一斉授業、T.T 指導、習熟度別少人数指導、個別指導など、学習内容に応じて学習形態を工夫し、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <hr/> <p>指標 レディネステストなどを基に児童の実態を把握しながら指導に取り組み、算数科の単元テストにおいて、数と計算領域の正答率 50%未滿の児童の割合を 15%以下にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>全教員が学びを楽しむ児童の育成をめざして、一回以上の研究授業を行う。</p> <hr/> <p>指標 体育の研究授業の前後にアンケートを実施し、「体育の学習は楽しいですか。」という質問に対して、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と答える児童の割合を 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>教員の指導力向上をめざし、校内研修（メンター研修、教科領域主任研修会等）を企画し、計画的に実施する。</p> <hr/> <p>指標 校内研修計画を作成し、計画的に年 8 回以上の研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 4 健やかな体の育成】</p> <p>なわとび週間やかけあし週間等を活用し、体力向上の意識を高める。</p> <hr/> <p>指標 シャトルランの記録を、年度当初の記録より平均で 3 回以上向上させる。（1・2 年生は 50m 走の記録を年度当初より向上させる。）</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末を使い、デジタル教材の使用や家庭学習等を週数回実施する。 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を70%以上にする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル教材を活用した学習を週数回実施する。 ○ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を65%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を行う。</p> <hr/> <p>指標 児童が学習の際、タブレットを使用した回数を週2回以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に基づく取組を行っていく。（時間外勤務時間を月45時間以下、年360時間以下にしていく。）</p> <hr/> <p>指標 学校園における「働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【その他】</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度内の校内調査において、「学校のいろいろな行事が好きで、学校へ行くことが楽しい。」の項目について、児童の割合を前年度以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>人格形成の基礎を培うため、「自分」で「自分」を見つめる機会を設けたり、本物に触れ合う機会を設けたりして、豊かな情操を醸成する。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート「学校へ行くことが楽しい。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館の開館を保証し、館内環境整備を行うことにより、子どもたちが進んで読書活動をする環境を整える。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケートで「読書は好きですか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。</p>	